

私たちは、お客さまとの 「エンゲージメント1st (ファースト)」を 確立するために、全力で行動してまいります。



取締役頭取

村瀬幸雄

平素より十六銀行をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

ここに、当行の営業の概況や平成28年3月期決算の状況を皆さまにご理解いただくため、ディスフロッジャー誌を発刊いたしました。

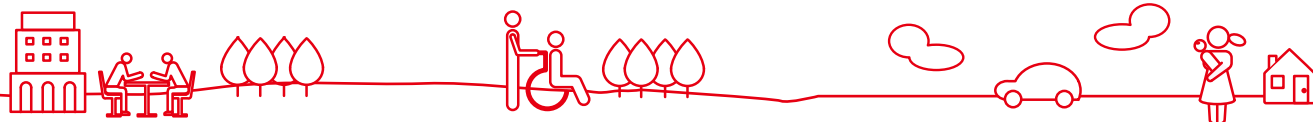
金融機関を取り巻く環境をみますと、他業態を含めた競争の熾烈化に加え、マイナス金利政策の導入により、低金利が長期化する様相を呈しています。また、少子高齢化の進展や人口の減少など社会経済構造の変化が進むなか、「地方創生」への取組みでは、地域金融機関に対し、金融仲介機能の発揮はもとより、積極的な地域社会への関わりが求められております。

こうしたなか、当行は、お客さまとの関係性を双方向で強化することを最優先の行動基軸とする「エンゲージメント1st (ファースト)」を確立し、お客さまの夢の実現や発展に貢献するなかで、お客さまや地域とともに持続的な成長を成し遂げていかなければなりません。

平成28年度は、「第13次中期経営計画 ～ All For Your Smile こころにひびくサービスを～」の仕上げの一年であり、計画目標の達成に向け全力で行動してまいります。

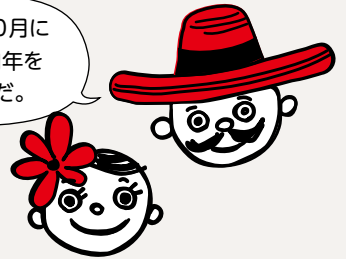
皆さまにおかれましては、今後とも引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

平成28年7月



明治10年(1877年)10月、第十六国立銀行として創業して以来、地域社会や産業界から厚い信頼をいただき歩み続けてきました。

平成29年10月に
創立140周年を
迎えるんだ。



明治

- 10年10月 第十六国立銀行創業
- 29年12月 株式会社十六銀行と改称

昭和

- 9年11月 外国為替業務を開始
- 26年12月 名古屋支店を開設
- 28年 4月 資本金を4億円に増資
- 7月 東京事務所を設置
- 31年 4月 東京支店を開設
- 35年 3月 資本金を8億円に増資
- 4月 大阪支店を開設
- 44年 4月 資本金を24億円に増資
- 10月 名古屋証券取引所第二部上場
- 46年 6月 資本金を40億円に増資
- 47年 6月 事務センター竣工
- 9月 東京証券取引所第一部上場
- 48年 4月 資本金を57億7千万円に増資
- 50年 7月 全店総合オンライン完成
- 9月 資本金を75億1百万円に増資
- 52年 4月 海外コルレス業務を開始
- 新本店竣工
- 10月 創立100周年
- 53年 4月 資本金を78億7千6百5万円に増資
- 54年12月 総預金1兆円達成
- 56年10月 資本金を100億円に増資
- 57年 7月 第2次オンラインシステム完成
- 8月 コルレス包括承認銀行に昇格
- 58年 4月 公共積の窓口販売開始
- 60年 6月 債券ディーリング業務を開始
- 61年12月 資本金を132億円に増資
- 62年 1月 香港駐在員事務所を設置
- 9月 総預金2兆円達成
- 10月 創立110周年
- 第1回無担保転換社債の発行



旧本店(岐阜市)

すべては、岐阜から
始まりました!



本店(岐阜市)

昭和・平成の時代に、
十六銀行は大きく
成長しました!!



平成

- 元年 6月 香港支店を開設
- 10月 中間発行増資総額120億円
- 2年 3月 総預金3兆円達成
- 3年 3月 中間発行増資総額83億円
- 5年 3月 上海駐在員事務所を設置
- 5月 第3次オンラインシステム完成
- 7月 十六ビル竣工
- 11月 代理店方式による信託業務参入
- 6年 3月 名古屋ビル竣工
- 7年10月 中間発行増資総額151億円
- 12月 東京三菱証券と社債関連業務に関する包括提携
- 8年10月 「じゅうろくローンサービスセンター」を開設
- 9年 8月 十六地域振興財団設立
- 10月 創立120周年
- 10年 4月 全支店で外貨両替業務を開始
- 12月 証券投資信託の窓口販売開始
- 11年 1月 テレホンバンキング業務を開始
- 11月 電算センター竣工
- 12年 3月 十六フロンティア投資事業有限責任組合設立
- 7月 名古屋銀行と業務提携検討開始
- 13年 4月 保険商品の窓口販売開始
- 5月 ISO14001 認証取得
- 11月 中部金融M&Aネットワーク発足
- 16年 4月 ブロック制スタート
- 17年 3月 証券仲介業務を開始
- 19年 7月 地銀共同化システム稼働
- 10月 創立130周年
- 21年 1月 岐阜銀行と業務資本提携契約締結
- 22年12月 総預金4兆円達成
- 岐阜銀行を株式交換により子会社化
- 23年 4月 第12次中期経営計画スタート
- 24年 4月 名古屋支店を名古屋営業部へ昇格
- 9月 岐阜銀行との合併
- 12月 預金等残高5兆円達成
- 25年 6月 株式会社十六総合研究所を設立
- 26年 4月 第13次中期経営計画スタート
- 27年 3月 シンガポール駐在員事務所を設置
- バンコク駐在員事務所を設置
- 28年 4月 外貨両替ショップを開設



十六銀行名古屋ビル
(名古屋市)

時代の流れにあわせて
多くのプロジェクトを
始めています!



All For Your
Smile
ここにひびくサービスを



当行の基本理念

基本方針

十六銀行は
金融機関としての公共的
使命を遂行することによって
地域社会に奉仕する。

十六銀行は
広い視野に立ち、
つねに合理性を貫き堅実な
経営により発展をはかる。

十六銀行は
すべての職員が安定した
生活ができるよう
努力する。

経営方針

頼りにして いただける銀行

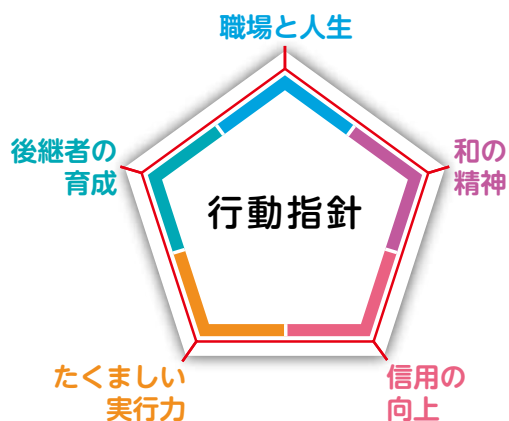
当行が歩む道—それは地域社会を離れてはありえません。地域社会との緊密化を深め、豊かで住みよい地域社会を築くことが、当行に課せられた使命です。お客さまの立場に立って行動し、総合金融サービスの拡充に努めるとともに、地元企業の育成、地域開発への参画等、地域中枢金融機関として、皆さまから一層頼りにしていただける銀行になるよう努力しています。

充実した銀行

お客さまのニーズに即応し、質の高いサービスを提供していくには、経営体質が強固でなければなりません。このため、収益力の強化、資産の健全性の維持・向上に努め、リスク管理を徹底するとともに、経営全般にわたる合理化・効率化を推進しています。

行動する銀行

激変する環境にあっても、金融機関としての機能を最大限に発揮する原動力は、高いモラルをもった活力ある人材であり、強靱な組織力です。誠意を尽くし高度な知識をもって、皆さまのお役に立つことができる人材育成に取り組むとともに、変化に柔軟かつ的確に対応できる組織づくりに努めています。



職場と人生

われわれは仕事を通じて社会に奉仕する。職場は自己を成長させ、幸福をもたらす場であるとの自覚に立ち、つねに最善をつくそう。

和の精神

信頼と協力は明るい職場をつくる。相たずさえて心からの和を誓おう。

信用の向上

銀行の生命は信用である。誠意をもって人に接し、熱意をもって仕事に当り、信用の向上に努めよう。

たくましい実行力

実行は明日を創造する。信念と勇気をもって仕事をすすめよう。

後継者の育成

後継者の育成はわれわれの責任であり誇りである。
明日の経営に自己を活かすことを考え、より良い後継者を育てよう。



第13次中期経営計画

～ All For Your Smile ころこにひびくサービスを ～



平成26年度から平成28年度までの3か年を計画期間とする「第13次中期経営計画 ～ All For Your Smile ころこにひびくサービスを～」に取り組んでおります。本計画においては、「徹底した顧客志向への意識改革・行動改革」「地域金融機関としての原点回帰」「愛知県戦略を軸とした成長戦略」を基本方針に据え、7つの基本戦略である「お客さま起点によるサービスの品質向上」「地域別戦略」「地域密着型金融のさらなる推進」「資金運用力の強化」「経営資源配分の最適化」「人材活用および人材育成」「財務体質の強化および経営管理態勢の高度化」に取り組んでおります。

取締役頭取 **村瀬幸雄**

第13次中期経営計画

基本戦略

本経営計画における次の基本戦略を断行し、当行グループを取り巻く課題に適切に対処してまいります。

▶お客さま起点によるサービスの品質向上

お客さまとの接点強化をはかるとともに、お客さまの資産状況やライフステージによる様々なニーズに即した商品・サービスを提供しリテール部門を強化してまいります。また、お客さま目線での業務改革を通じてサービスレベルの向上や業務効率化に取り組んでまいります。

▶地域別戦略

岐阜県においては、高品質のソリューション提供を通じて一層のリレーション強化をはかり、圧倒的な県内シェアを確保してまいります。愛知県においては、店舗網を充実させるほか、営業推進態勢の強化をはかり、地元化をさらに推進してまいります。

▶地域密着型金融のさらなる推進

地域経済の健全な発展のため、迅速かつ円滑な資金供給のほか、お客さまのライフサイクルに応じたコンサルティング機能の発揮等、地域密着型金融のさらなる推進に取り組んでまいります。

▶資金運用力の強化

機動的な有価証券運用により収益拡大をはかるほか、新たな収益機会を積極的に取込み、資金運用力を強化してまいります。

▶経営資源配分の最適化

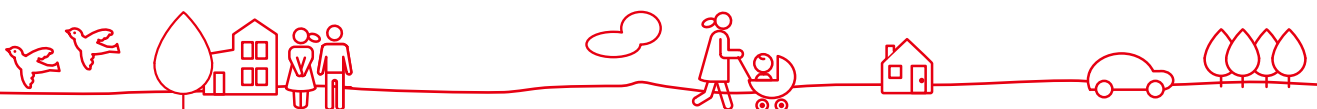
効果的なコスト管理の実施や中長期的なICT戦略の強化など、限られた経営資源を有効に活用してまいります。

▶人材活用および人材育成

職員のモチベーションの向上のため、能力・適性に応じた処遇等に努めるほか、人材育成に注力してまいります。

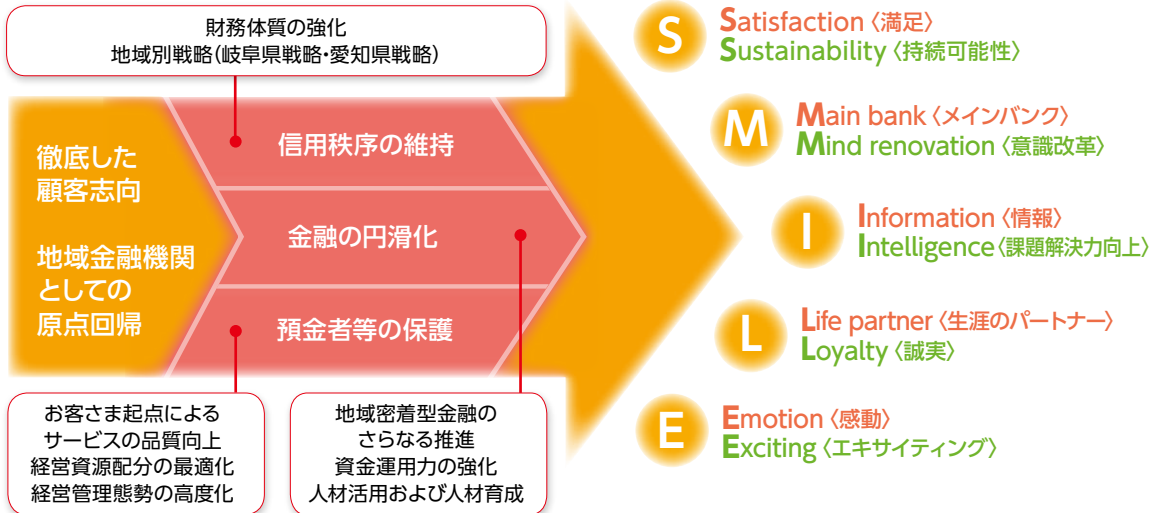
▶財務体質の強化および経営管理態勢の高度化

資本および資産の質の向上をはかり財務体質を強化していくほか、リスク管理態勢の高度化やコンプライアンス・顧客保護の徹底をはかってまいります。



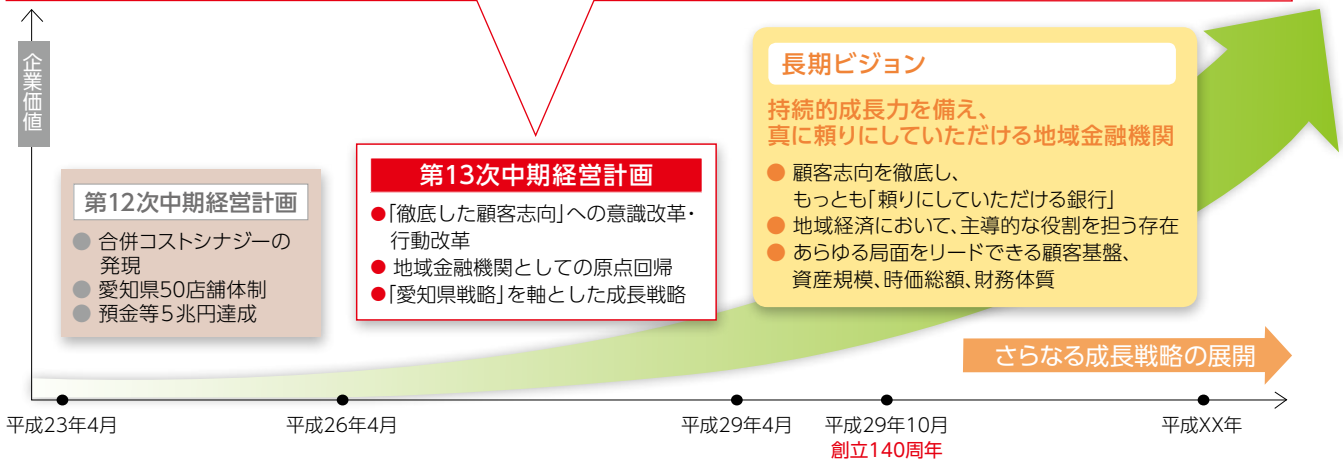


中長期的な視点から企業価値を高め、
成長していく戦略をたてています！



計 数 目 標	成長性(顧客基盤)		収益性	健全性	
	預金等残高	リテール貸出先件数※1	当期純利益	コア資本比率(完全実施ベース)※2	与信費用率※3
	最終年度末 5兆6,000億円	最終年度末 100,000件以上	最終年度 100億円	最終年度末 8.8%以上	最終年度 0.2%未満

※1 リテール貸出先件数 = 中小企業貸出先数(含、個人事業主) + 住宅ローン・アパートローン件数(当行基準)
※2 コア資本比率(完全実施ベース) = $\frac{\text{コア資本(経過措置適用前)}}{\text{リスク・アセット等(経過措置適用前)}}$
※3 与信費用率 = $\frac{\text{与信関係費用}}{\text{貸出金平残}}$



十六銀行で受け継がれている心得です！

そのもとすえ ～其の本栄えて末栄える～

当行には、「行員心得十則」という基本方針が明治の時代からあります。

「行員心得十則」の一番目は、「其の本栄えて末栄える」という教えから始まります。

これは、本(もと)であるお客さまが栄えることで、

やがては末(すえ)に位置する銀行が栄えることにつながることを説いています。

お客さま本意の考え方は今に始まったものではなく、現在に至るまで脈々と受け継がれております。

当行の役職員はこれからも「徹底したお客さま志向」のもと、行動してまいります。

